

- 「第 30 回日本災害医学会総会・学術集会」のご報告
- 「第 95 回日本衛生学会学術総会」のご報告
- 「第 23 回世界災害救急医学会（WADEM 2025）」のご報告
- 「第 98 回日本産業衛生学会」のご報告
- 「第 109 次日本法医学会学術全国集会」のご報告
- 「第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会のご案内
- 「第 84 回日本公衆衛生学会総会」のご案内
- 「第 73 回日本職業・災害医学会学術大会」のご案内
- 「第 45 回医療情報学連合大会（第 26 回日本医療情報学会学術大会）」のご案内
- 社会医学系専門医制度 講習会情報
- 事務局からのお知らせ

学会開催のご報告

第 30 回日本災害医学会総会・学術集会記念大会 開催報告

第 30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会

会長 北川 喜己

（名古屋掖済会病院 病院長）

去る 2025 年 3 月 6 日から 8 日に、第 30 回日本災害医学会総会・学術集会を名古屋市の名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）にて開催し、全国から約 3,300 名もの皆様にご参加いただきました。ご多忙の中、多くの皆様にご参集いただき、心より感謝申し上げます。

記念すべき本大会のメインテーマは「海とともに生きる！伊勢湾台風復興の地で災害のこれまでとこれからを考える」と掲げ、災害医療の歴史を振り返りつつ、未来に向けた課題と展望を議論する場となりました。演題数は主要演題を含め約 1,400 題にのぼり、ポスター会場を除き 10 会場を使用して活発な発表と討議が行われました。

本大会では、設立から 20 年を迎えた DMAT の歩みを振り返り、急性期から亜急性期支援まで対象を拡大してきた進化の過程を幅広い視点から検証しました。あわせて、令和 6 年能登半島地震において浮き彫りとなった、甚大な被害による地域の孤立や、高齢化・人口減少社会における災害対応の課題についても、多方面から議論が交わされました。

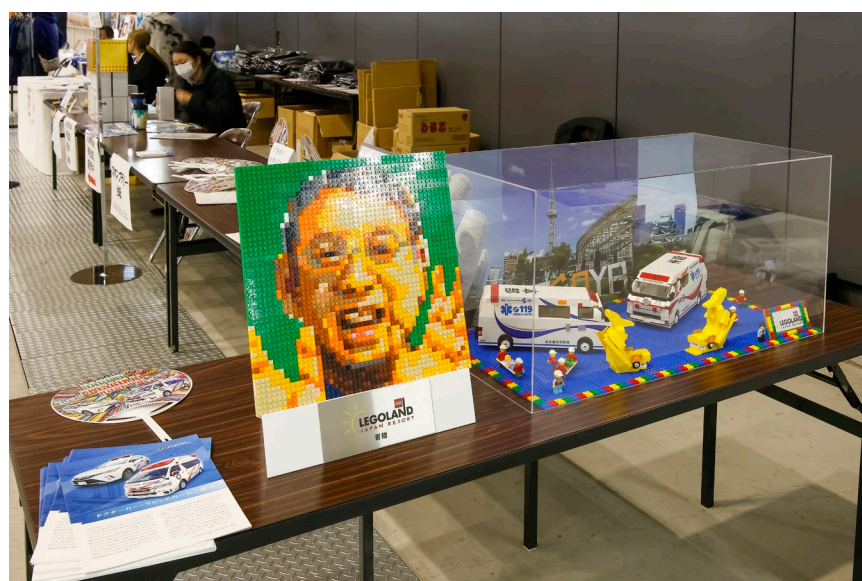
さらに、医療のみならず、保健・福祉、防災・減災、災害復興といった幅広い分野におけるセッションも多数実施されました。防災学術連携体による異分野連携の取り組み紹介をはじめ、土木・建築分野の専門家も交えた議論が展開され、災害医療の枠を越えた総合的な防災文化の醸成に向けた新たな一歩が示されました。

また、初の試みとして「こどもきゅうきゅうのかい」と連携した子ども向け防災体験イベントも開催し、子どもたち自身が防災や救急に親しむ機会を通じて、次世代への意識啓発と、災害医療の将来発展に向けた新たな一歩を刻むことができました。

社会医学系専門医に関連しては、指導医講習会をはじめ必須受講項目である「医療倫理」、「感染対策」、「医療安全」、「指導医講習会」に加えて K 単位対象の選択受講項目として多くのセッションを実施し、非常に多くの方に受講をいただきました。災害医学に係る社会医学系人材の豊富さを実感しました。

本学術集会での講習会企画が、社会医学に係る皆様の研修に貢献できることを祈念して開催御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ご参加、ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。



第 95 回日本衛生学会学術総会のご報告

第 95 回日本衛生学会学術総会
 学会長 亀井美登里
 (埼玉医科大学医学部 社会医学 教授)

第 95 回日本衛生学会学術総会は、2025 年 3 月 19 日（水）から 21 日（金）にかけて、さいたま市のソニックシティで埼玉県では初めての対面開催をさせていただきました。衛生学エキスパートや社会医学系専門医の単位認定に係る講演は、後日オンデマンド配信もさせていただきました。

学術総会のテーマは、「衛生学の新たな創生—健康で豊かな未来のために—」といたしました。このテーマを踏まえたメインシンポジウムも含めて 8 つのシンポジウム、5 つの公募シンポジウム、3 つの自由集会、3 つの教育講演、共催セミナー、次期学会長講演、若手研究者の会の企画、社会医学専門医協会指導医講習会、市民公開講座などのプログラムを組みました。一般演題には 255 題（口演 108 題、ポスター 147 題）の登録をいただきました。代議員総会の後に表彰式の時間をいただき、学会賞、奨励賞、若手優秀発表賞、EHPM Award、Editor-in-chief Award、Best Reviewer Award などの表彰をいたしました。受賞者からは一言ずつスピーチをいただきました。その後、懇親会も開催させていただきました。最終的に約 750 名の皆さまにご参加いただきました。大変有意義な学術総会となりました。沢山のご支援、ご協力を賜り、深謝申し上げます。事務局一同厚く御礼申し上げます。



第 23 回世界災害救急医学会（WADEM2025）開催報告

第 23 回世界災害救急医学会（WADEM2025）

会長・組織委員会委員長 大友 康裕

（国立病院機構災害医療センター 院長）

2025 年 5 月 2 日から 6 日にかけて、第 23 回世界災害救急医学会（WADEM2025）が東京・新宿の京王プラザホテルにて開催されました。日本災害医学会および WADEM2025 組織委員会が中心となって準備を進めてきた本大会は、日本学術会議と共同で主催し、災害医療・救急医療に関する国際的な連携と知見の共有を目的に、世界 84 개국から 1,337 名の参加者を迎える大規模な国際会議となりました。

開会式では、愛子内親王殿下のご臨席を賜り、おことばをいただきました。会議では書道パフォーマンスや和楽器演奏、歌舞伎、阿波踊りなど、日本文化を体感いただける演出を各種レセプションに取り入れ、日本の災害医療に対する姿勢を示し、かつ、「おもてなし」の心を内外に発信する機会となりました。

会期中は、プレコングレスワークショップを皮切りに、著名な講師陣によるプレナリーセッション、特色あるスペシャルセッション、ネットワーキングを意識したラウンドテーブルなど、多彩なプログラムを通じて、国境を越えた有意義な議論が展開されました。

災害医療の研究手法、医療システム、サイバーセキュリティ、キャパシティ・ビルディングなど幅広いテーマが扱われましたが、今大会における大きなトレンドは、精神保健および心理社会的支援、いわゆる「こころのケア」とプライマリ・ケアであったと言えます。前回大会と比較してプライマリ・ケアに関する演題が増加し、また閉会前のプレナリーセッションでは、精神保健および心理社会的支援とプライマリ・ケアの重要性、課題、急性期支援との統合について、多くの参加者から質問や意見が寄せられ、会場は熱気に包まれました。

本会議では、社会医学系専門医協会との連携のもと、以下の 5 セッションが専門医更新のための選択講習として認定されました。

- Opening Plenary（國井修氏、Saini Yang 氏、Sang Do Shin 氏）：国際的災害医療の潮流と協働
- Hospital Operations Continuity Plan（April Bautista Llaneta 氏 ほか）：医療機関の事業継続計画（BCP）の実践
- Mental Health and Psychosocial Support（Elizabeth Newnham 氏 ほか）：災害時のメンタルヘルス支援
- Risk Informed Governance（Saini Yang 氏 ほか）：災害リスクに基づく政策設計のあり方
- Climate Change and Anticipatory Action（辻田岳氏 ほか）：気候変動下における予測的行動の枠組み

これらのセッションには多くの社会医学系専門医の先生方にご参加いただき、国内外の第一線で活躍する専門家による講演や実践紹介を通じて、社会医学的視点からも極めて意義深い学びの場となりました。次回の WADEM は 2027 年、パリにて開催される予定です。今後も本分野における国際的な連携の深化と、日本の災害医療のさらなる発信が期待されます。



愛子内親王殿下ご臨席の開会式



基調講演



精神保健および心理社会的支援セッション



伝統芸能を満喫して頂いたガラディナー

第 98 回日本産業衛生学会のご報告



第 98 回日本産業衛生学会

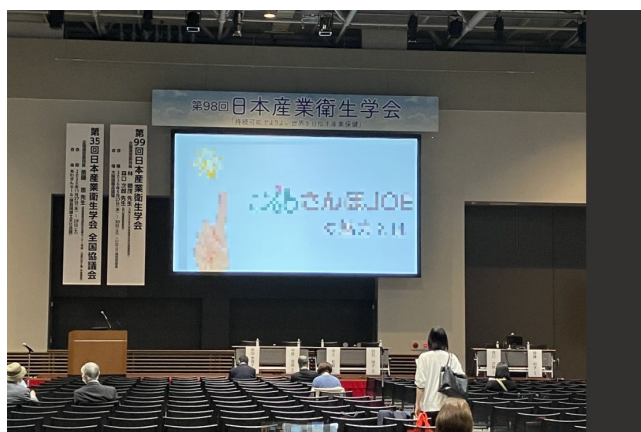
企画運営委員長 黒澤 一

(東北大学環境・安全推進センター 教授・統括産業医)

第 98 回日本産業衛生学会は、去る 5 月 14～17 日に仙台で開催、無事に終了させることができました。分散会場になってしまいましたし、会場によっては部屋が狭く多くの入室希望者があふれてしまったことなど、大変なご迷惑とご不便をおかけしてしまいました。しかしながら、そのような中、すべての会場、機器展示場およびポスター会場に参加者が集い、周辺の自然の環境を楽しみながら移動くださっている様子が伝わってきて、本当に助けられた思いでした。招待者を含めた参加登録者は、現時点で少なくとも計 5228 名にのぼり、多くの皆様のご参加と活発な議論と交流の結果、大変賑やかな学会となりました。ここに関係各位に深く感謝し御礼を申し上げる次第です。

今回のプログラムでは、メインシンポジウムを 3 つ企画しました。最先端のテクノロジーを東北大学の研究者に紹介してもらう企画、ゲノム情報などによる個別化ヘルスケアと産業保健の企画、大災害についての企画、でした。オンデマンド視聴を含め、多くの聴講者があり、充実した内容であったと思います。その他の多くのシンポジウム、日本医師会の松本会長をお迎えしての特別講演、100 周年特別企画、市民公開企画、等々、多彩な内容となりました。会期中に行われた、社会医学系のプログラムの受講者は、共通講習会 103 名、産業衛生指導医講習会 220 名など、のべ計 806 名の参加をいただきました。

杜の都仙台の自然の他、学会後の夜のひとときも魅力の一つだったと思います。全体懇親会は参加者 500 人を超える盛大な会となり、ユネスコ世界遺産となった西馬音内盆踊りや学会有志によるジャズ演奏などをお楽しみいただきました。牛タンや寿司などの仙台の味のほか、東北の日本酒もたくさんご賞味いただけたかと思います。次回の第 99 回は大阪、記念すべき第 100 回は九州です。なんとか、無事にバトンを渡すことができたかはころもとありませんが、ほっとする気持ちでいっぱいです。重ねて、皆様のご支援ご協力に感謝を申し上げる次第です。



第 109 次日本法医学会学術全国集会のご報告

第 109 次日本法医学会学術全国集会

会長 神田 芳郎

(久留米大学医学部法医学講座 教授)

6 月 12 日、13 日の 2 日間にわたり、久留米シティプラザにおいて第 109 次日本法医学会学術全国集会を開催いたしました。あいにくの梅雨らしい天候ではありましたが、600 名を超える参加者に恵まれました。

本集会では、特別講演 2 題、シンポジウム 2 題、法医学の研究、症例検討 4 題、学生研究発表 17 題に加え、一般演題では口演発表が 49 題、ポスター発表 135 題と多数の演題が発表されました。最も多くの参加者が集まったのは特別講演で、「新型コロナ顛末記」と「剖検から展開する医学研究」という会員にとって示唆に富む内容で、終了時には大きな拍手が送られました。シンポジウムでは「性加害における法医学の役割・現状・課題」と「大規模災害時における死体検案の実務と課題」という法医学の社会貢献に関する重要な話題を取り上げました。いずれのセッションでも興味深い発表と熱い討論がなされました。法医学の研究では、法医学に特徴的な分野であるプランクトンについて若い研究者の見本となるような研究結果を紹介いただきました。また、今回初めて企画した症例検討でも有意義な議論が繰り広げられました。学生研究発表では、厳正なる審査の結果 2 つの演題が優秀賞として表彰されました。さらに今回は、ランチョンセミナーも、2 日間ともに興味の異なる 2 演題ずつ、計 4 演題のご提供を頂きました。1 日目の夕方に会場内の六角堂広場という屋根付きの広場で開催された懇親会も、久留米ラーメンや焼き鳥の出店もあり、多数の参加を頂き盛会のうちに終了いたしました。非常にタイトなスケジュールであったにもかかわらず、演者の皆様、座長及びオーガナイザーのご協力によりスムーズに進行し、全日程がほぼ予定通りに無事終了いたしましたことをご報告申し上げます。

学会開催のご案内

第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会

ホームページ <https://procomu.jp/jsha2025/>



メインテーマ

身近にある医療データを医療・病院管理に活かす

第63回
**日本医療・
 病院管理学会
 学術総会**

会期 2025年 10月4日(土)～5日(日)

会場 東京科学大学 湯島キャンパス
 (東京都文京区湯島1-5-45)

学術総会長 伏見 清秀 (東京科学大学大学院 教授)

東京科学大学 湯島キャンパス
 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 M&Dタワー15階 S1568号室
 TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820 E-mail: jsha63th@procom-i.jp

株式会社プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階
 TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820 E-mail: jsha63th@procom-i.jp

<https://www.procomu.jp/jsha2025/>

会 期 2025 年 10 月 4 日(土)～5 日(日)

会 場 東京科学大学 湯島キャンパス(〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45)

テ — マ 身近にある医療データを医療・病院管理に活かす

学 会 長 伏見 清秀(東京科学大学大学院 教授)

大会事務局 東京科学大学大学院 医療政策情報学分野
 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 M&D タワー15 階 S1568 号室

運営事務局 株式会社プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階
 TEL:03-5520-8821 FAX:03-5520-8820 E-mail: jsha63th@procom-i.jp

(スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

第 84 回日本公衆衛生学会総会

ホームページ <https://plaza.umin.ac.jp/~jsph84/>



会 期 2025 年 10 月 29 日(水)~31 日(金)

会 場 グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター

(〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目 3 番 1 号)

テ ー マ フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理

学 会 長 尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座 教授)

運営事務局 株式会社コングレ東北支社

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービルディング

TEL:022-723-3211 FAX:022-723-3210 E-mail:jsph84@congre.co.jp

(スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

第73回日本職業・災害医学会学術大会

ホームページ <https://www.73jsomt.jp>

Well-beingを目指す
共感と共創の
職業・災害医学



第73回
日本職業・災害医学会学術大会

会 期 2025年11月2日(日)～3日(月・祝)

会 場 新横浜プリンスホテル
〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

会 長 三上 容司
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 病院長

主催事務局 独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院
運営事務局 一般社団法人会議支援センター 〒104-0041 東京都中央区新富2-4-14 新富田所ビル4階
Tel.03-6222-9871 Fax.03-6222-9875 Mail:a-csc@a-csc.org



会 期 2025年11月2日(日)～3日(月・祝)

会 場 新横浜プリンスホテル(〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-4)

テ ー マ Well-beingを目指す共感と共創の職業・災害医学

学 会 長 三上 容司(独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 病院長)

主催事務局 独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院

運営事務局 一般社団法人 会議支援センター

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-14 新富田所ビル 4 階

TEL: 03-6222-9871 FAX: 03-6222-9875 E-mail:a-csc@a-csc.org

(スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

第45回医療情報学連合大会（第26回日本医療情報学会学術大会）

 ホームページ <https://jcmi45.org/>


第45回医療情報学連合大会
 （第26回日本医療情報学会学術大会）

医療DXがもたらす医療情報新時代

会 期：2025年11月12日(水曜日)～11月15日(土曜日)
 会 場：アクリエひめじ（兵庫県姫路市）

大会長：山下芳範（福井大学）
 プログラム委員長：木村映善（愛媛大学）
 実行委員長：竹村匡正（兵庫県立大学）
 総務委員長：花田英輔（佐賀大学）

大会事務局
 福井大学医学部附属病院医療情報部内
 第45回医療情報学連合大会 大会事務局
 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23の3
 Mail: secretariat@jcmi45.org
 Web: <https://www.jcmi45.org>

運営事務局
 株式会社JTBコミュニケーションデザイン
 事業共創部 コンベンション第二事業局
 〒105-8335 東京都港区芝3-23-1
 セレスティン芝三井ビルディング12階
 E-mail: jcmi45@jtbcom.co.jp

提 供：姫路市

会 期 2025 年 11 月 12 日(水)～15 日(土)

会 場 アクリエひめじ(〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町 143-2)

テー マ 医療 DX がもたらす医療情報新時代

大 会 長 山下 芳範(福井大学医学部附属病院)

 大会事務局 福井大学医学部附属病院医療情報部内 第45回医療情報学連合大会 大会事務局
 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23 の3

E-Mail:secretariat@jcmi45.org

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 E-mail:jcmi45@jtbcom.co.jp

(スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

社会医学系専門医制度 講習会情報

社会医学系専門医に関する説明会や講習会の予定をご案内いたします。お申し込み等の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一般社団法人 社会医学系専門医協会 HP <http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

開催予定の講習会

(スパムメール防止のため、問合せ先メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

【2025 年 9 月】

学 会 名	全国保健所長会
タイトル	令和 7 年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」(東北ブロック)
日 時	2025 年 9 月 5 日(金)15:15～16:15
場 所	ホテル福島グリーンパレス 瑞光の間
問合せ先	shochokai@jpha.or.jp
単 位 数	指導医講習 1 単位

【2025 年 10 月】

学 会 名	全国衛生部長会
タイトル	社会医学系専門医協会共通(必須)講習会【医療安全】 ～特殊災害対応の初動に関して～
日 時	2025 年 10 月 28 日(火)15:30～16:30
場 所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
問合せ先	buchokai@jpha.or.jp
単 位 数	共通講習【医療安全】K-1 単位

学 会 名	日本公衆衛生学会
タイトル	社会医学系専門医 指導医講習会
日 時	2025 年 10 月 30 日(木)8:30～9:30
場 所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
問合せ先	jsph84@congre.co.jp
単 位 数	指導医講習 1 単位

【2025 年 11 月】

学 会 名	第 35 回日本産業衛生学会全国協議会
タイトル	医療倫理
日 時	2025 年 11 月 27 日(木)9:30～12:30
場 所	あわぎんホール
問合せ先	saneikyogikai35@gmail.com
単 位 数	共通講習【医療倫理】K-1 単位

学 会 名	第 35 回日本産業衛生学会全国協議会
タイトル	感染対策の基礎知識～外国出生労働者の感染症対策を考える～
日 時	2025 年 11 月 27 日(木)10:30～11:30
場 所	あわぎんホール
問合せ先	saneikyogikai35@gmail.com
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

学 会 名	第 35 回日本産業衛生学会全国協議会
タイトル	医療従事者が知っておくべき医療安全管理の動向
日 時	2025 年 11 月 27 日(木)11:30～12:30
場 所	あわぎんホール
問合せ先	saneikyogikai35@gmail.com
単 位 数	共通講習【医療安全】K-1 単位

社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員マイページよりご変更ください。

下記 URL 上部「会員マイページログイン」のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページへのログインにはログイン ID（会員番号）/パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログイン ID（会員番号）は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局（jbphsm@asas-mail.jp）までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会（会員ページログインのため）

①氏名

②ご所属先

③生年月日（19XX/●●/△△）

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送いたします。

【記載事項】

- ・ 会員様のお名前
- ・ 会員番号
- ・ お支払いいただいた金額
- ・ 何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：jbphsm@asas-mail.jp

FAX：03-5981-6012

【2025 年度版】専門医・指導医又は専門医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）（2025 年 7 月 24 日更新）

社会医学系専門医・指導医の更新手続き、今後のスケジュールなどについて、ご案内いたします。

※更新に関するお問い合わせは、社会医学系専門医協会事務局へのメール（jbphsm@asas-mail.jp）及び HP 内の「お問い合わせ」のみ受け付けます。

お電話では一切受け付けておりません。

詳細は、以下のページをご覧ください。

<https://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

（スパムメール防止のため、依頼先メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。）